

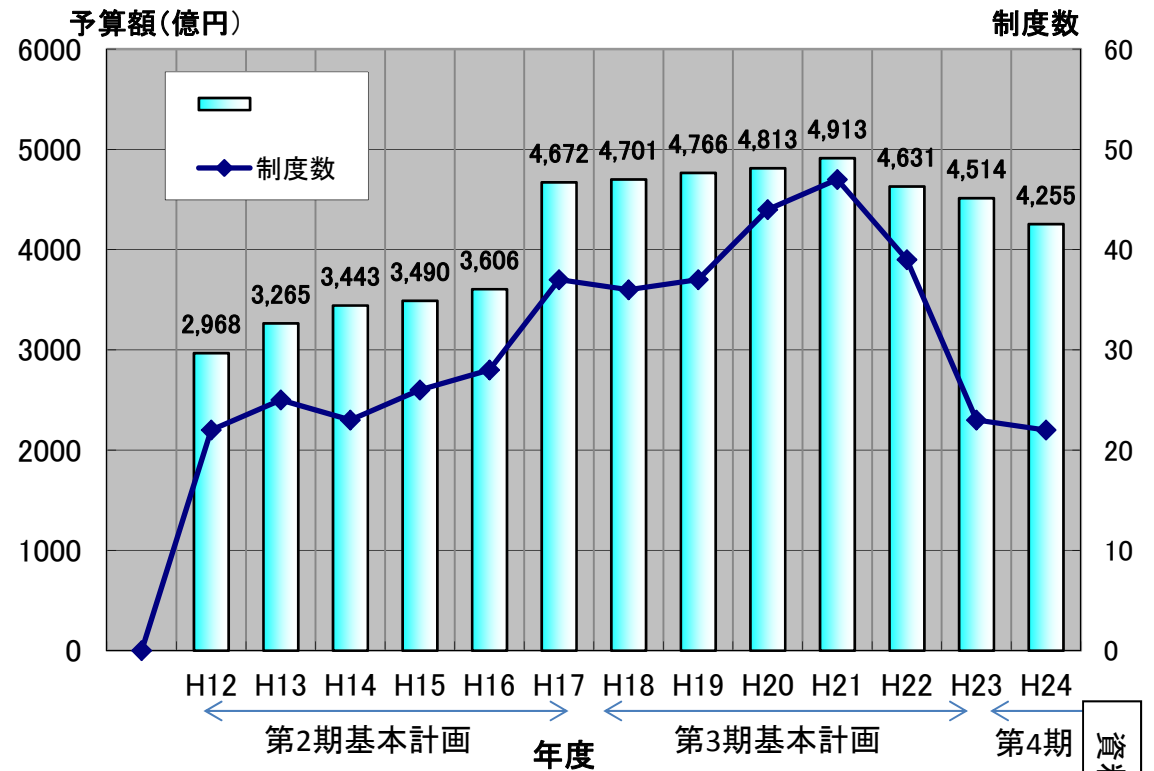
競争的資金について

競争的資金の概念と意義等

- 競争的資金
: 資源配分主体が広く研究開発課題等を募り、提案された課題の中から、専門家を含む複数の者による科学的・技術的な観点を中心とした評価に基づいて実施すべき課題を採択し、研究者等に配分する研究開発資金
- 研究者の能力を最大限に発揮させ、世界最高水準の研究成果を創出し、競争的な研究環境の形成に寄与する根幹的な研究資金
- イノベーションの源泉となるボトムアップ型の資金から、社会還元に直結するようなトップダウン型の資金まで、研究の発展段階や政策目的(課題や分野)に対応
- 競争的資金制度については、多様性を確保しつつ、整理統合を促進
(平成21年度47制度→平成24年度22制度)。

競争的資金の予算額及び制度数の推移

- 競争的資金予算の増額が図られたが、近年は厳しい財政状況の中でほぼ横ばいで推移。
- 平成24年度の競争的資金総額は、約4,255億円(科学技術関係費の11.6%)



注) 平成21年度の補正予算で基金(1,500億円)として措置された「最先端研究開発支援」は、上記各年度予算額及び制度数には含まれない。